

信頼される選ばれる 病院を目指して

2026年4月1日に滋賀県立総合病院の病院長を拝命しました中村 敬哉（たかや）です。当院には2021年に呼吸器内科科長として着任し、2022年からは副院長として当院の運営・経営に携わっており、このたび、足立 壮一総長・前病院長が当院を統括する病院事業庁長に就任することに伴い、後任として病院長を仰せつかりました。

私は京都大学を卒業して医師になって以来、大学院でも臨床研究を行い、ずっと現場で働いてきた臨床医であり、経営に関して学ぶべきことがまだまだありますが、現場と経営をつなぐ“界面活性剤”役を担って尽力する所存です。

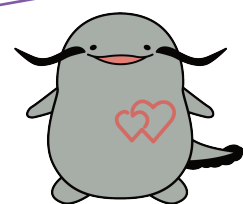
皆さまにさらに信頼され選ばれる病院を目指して邁進してまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

滋賀県立総合病院 病院長

中村 敬哉

京都大学卒、京都大学博士(医学)
日本呼吸器学会 呼吸器専門医、指導医、代議員
日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医、内科指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医、代議員
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
呼吸ケア指導士、代議員

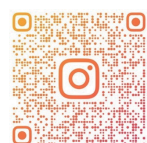
Information



イメージキャラクター「びわわん」

滋賀県立総合病院Instagram・Facebookのご案内

病院の活動を発信しています。
ぜひフォローをお願いします！



Instagram



Facebook

ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見や
ご感想をぜひお寄せください。
お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォーム
よりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



笑顔で患者に寄り添いチームで取り組む姿勢を基本とし
子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる高度かつ専門的な医療の実現

滋賀県立総合病院
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
TEL：077-582-5031（代）／0570-00-5031（ナビダイヤル）
【診療受付時間】 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く
【休診日】 土曜日・日曜日、祝祭日／年末年始（12/29～1/3）
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

Q 滋賀県立総合病院 :



FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会（経営強化推進室）
発行日：2026年8月

バックナンバーも
ご覧いただけます ▶



FACE



【特集】 新病院長 中村敬哉

【当院の現状と新病院長としての抱負】

当院は、1970年に開設された旧・成人病センターから2018年に改称し、全ての診療科により高度急性期・専門医療や救急医療を提供している滋賀県湖南地域の基幹病院です。滋賀県で唯一の都道府県がん診療連携拠点病院に指定されており、2025年1月に小児保健医療センターと統合しました。

当院の理念は「笑顔で患者に寄り添い チームで取り組む姿勢を基本とし 子どもから大人まで安心・信頼・満足の得られる高度かつ専門的な医療の実現」です。

厳しい経営環境ですが、私に課せられた使命と考え、「逆境（ピンチ）は飛躍のチャンスである」というマインドセット（物事の捉え方）に変えて、足立 壮一前病院長（現 病院事業庁長・総長）が確立された下記の4つの重点項目を引き継ぎ、ともに改革に挑戦したいと考えております。

【当院の重点項目】

当院が飛躍するため、「Why not?」（まずはやってみよう/できない理由より、できる方法を考えよう）を全職員のスローガンとしています。

下記の4つの重点項目（①選ばれる病院 ②断らない病院 ③育てる病院 ④健やかな病院）を、どんな人にも救いの手を差し伸べ、その手のひらにある眼で苦しむ人々を見逃さないという「千手観音」になぞらえて、下記の通り「選受観穩」と名付けました。

選…選ばれる

受…受け入れる→断らない

観…観察→育てる

穩…穩健→健やかな



下記の『4つの重点項目』が含まれるようにした
7つのモットーを作りました

【良い病院の1週間】

- 月 月のように、優しく寄り添い
- 火 火のように、熱意を持って
- 水 水のように、しなやかに受け入れ
- 木 木のように、豊かに育て
- 金 金のように、価値を高めて
- 土 土のように、地道に頑張り
- 日 太陽のように、光り輝く

①選ばれる病院

・地域に貢献するさらなる高度急性期・専門医療が充実する「県立病院」

・地域の患者さんにも職員にも信頼され、選ばれ続ける病院

・生活習慣病、認知症、神経難病などのニーズある医療を手放さない

<実績・方針>

■【がん】大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がんなど、腫瘍内科とともに様々な悪性腫瘍に対して薬物療法や手術など最新の治療を行っています。最新の放射線治療装置が稼働し、子宮頸がんに対する小線源放射線治療や神経内分泌腫瘍に対する内部からの放射線治療（ルタテラ治療）も行っています。がん相談支援センターと緩和ケア病棟を備えています。都道府県がん診療連携拠点病院、および、がんゲノム医療連携病院であり、がんに関わる部署を統合して2026年4月に「がんセンター」を設立しました。すでに行われている脳ドック・乳線ドック・前立腺ドックを発展させた「がんドック」開始を予定しています。

■【循環器疾患】カテーテルを用いて大動脈弁狭窄症（TAVI）、心房細動（パルスフィールドアブレーション、WATCHMAN）を治療しています。

■小児保健医療センターと統合し、小児の難病、慢性疾患、重症心身障害児に対する高度・専門的な医療を行っています。

■その他、産科以外の全ての診療科がそろっており、県内で数少ない免疫内科（膠原病内科）には多数の患者さんが紹介され、外科系診療科で多数の手術を行っています。

■【今後の予定】ICU・HCU改修、手術室増設、小児病棟の本館への移転、小児新棟の供用、救急外来改修。

■多職種連携によるチーム医療を行い、多職種が関わる共同意思決定（SDM）を推進し、患者満足度を向上させます。

■職員の心理的安全性を保ち、しなやかな適応力（レジリエンス）を強化し、安心・安全な医療の提供に努めます。

■DXやAIの利活用を推進します。

■病院ブランディング強化チーム活動を行い、診療などの内容を充実させて当院独自の価値を構築して認知度と信頼性を向上させ、患者さんや他の医療機関からの信頼を得ることに加えて、職員が当院でぜひ働きたいと誇りを持てる病院を目指します。その上で、他の医療機関への訪問、講演会や学会活動、オープンホスピタル、広報誌や診療科・部門紹介の冊子、ホームページやSNSなどにより、当院の魅力を精力的に情報発信します。

②断らない病院

・全県対応で患者と地域の信頼を集める拠点病院

・子どもから大人まで幅広い世代に寄り添い、受け入れる病院

<実績・方針>

■紹介患者さんに速やかに対応できる体制を構築しています。

■研修医の屋根瓦方式の当直を含めて救急診療体制を強化し、観察入院を体制化しています。

■急性期の循環器疾患に対応できる体制、外科と整形外科は通常の当直業務を免除し常に緊急対応・手術ができるオンコール体制、脳神経系当直体制を構築しています。

■精神疾患は滋賀県立精神医療センターなどと連携しています。

■災害拠点病院に指定されました（2025年4月）。

③育てる病院

・臨床に活かせる研究の推進と医療専門職を育成するアカデミック病院

<実績・方針>

■臨床研究センターで、PET-CT装置を用いた研究と、滋賀県の健康医療データとゲノム疫学研究のデータを元に健康課題の分析や精神神経疾患の病態解明の研究を行っています。

■卒後臨床研修評価機構（JCER）の認証を取得しました（2025年3月）。

■全職種で人材を育成し、学習して成長できるようにサポートします。

■学会発表や専門医等の資格取得を支援し、医療の未来を創るための臨床研究を推進します。

■他施設の医学生・研修医・看護学生などの研修・実習を積極的に受け入れています。

④健やかな病院

・コストカットとハイパフォーマンス経営による健全化病院

<実績・方針>

■経営状況を「見える化」し、全職員が経営に関して主体的に考えることができるようにしています。

■全診療科・部署が行動計画書を作成し、それに基づいて総長・病院長と経営改善強化プロジェクトチームによるヒアリングを行い、改善点を協議しました。

■持続可能な病院経営が可能となるため、財務基盤を安定化させるように改革を進めます。

■全職員に経営改善のための自由なアイデア提案を募り、ワーキンググループで議論して実現化を検討しています。